

上山口小だより

かしこく・ゆかよく・たくましく

NO. 4

2021年6月28日

葉山町立上山口小学校

校長 田中 基



(5年生作 たけのこ)

まだまだ梅雨が続いていますが、2年ぶりに水泳学習がはじまりました。様々な設備も、久しぶりに使用するので、念入りに点検し、6年生は、掃除を行ってくれました。

今年の水泳をお手伝いしてくれるのは、(写真左より) さん、さん、さんです。どうぞよろしくお願ひいたします。

また、昨年度はできなかった、地域や外部機関との学習や活動も、徐々に再開し、活気を取り戻してきています。



棚田



5年生は、葉山棚田耕作隊のご協力の下、一番上の4枚の田んぼに、うるち米を植えさせていただきました。柔らかい田んぼの感触を直に体感！この水はどこから来たんだろう？棚田はいつ造られたんだろう？体験を通して様々な思いが駆け巡ります。最後は、みんなで声をそろえて豊作を祈願しました。この後には、草刈りをし、田の畔豆(たのくろまめ)の苗も植える予定です。

また、別の日には、神奈川県立体育センターの「体力向上キャラバン」を迎え、体力測定を行いました。



交通安全教室



体力向上キャラバン

葉山警察交通課、交通安全協会、木古庭駐在所の協力により、1、2年生は交通安全教室を行いました。

道路で遭遇する、様々な危険箇所を想定し、一人ひとり丁寧な指導を受けました。来てくださった方々は、その後もパトロールで、子どもたちの下校の様子を見守ってくれています。



例年、この季節になると湿度が高くなり、PTA 室前トイレの床が結露でぬれ、すべりやすくなることに悩まされてきましたが、除湿器を設置することにより、結露することなく、快適に使えるようになりました。

併せて、古く暗くなっていた昇降口の照明を、LEDに交換しました。

上小ファーム

3年生が上小ファームで田の畔豆を育てるため、今年も さんが、畑を耕してくださいました。

田の畔豆については、今の4年生が、昨年度末に2年生（現3年生）に向けて発表し、育て、調べたことを「伝授」しました。

自分が担当するうねを決め、これからしっかりと育てていきます。



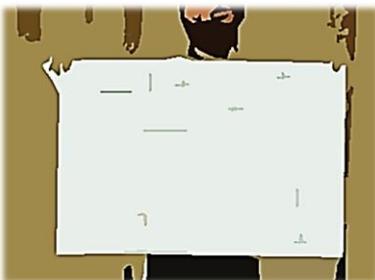
ふるさと絵屏風



別の日には、上山口町内会館にて、ふるさと絵屏風の学習を行い、継承会の方々より、歴史、文化について教えていただきました。



大人に言われなくても、きちんとそろえられていた靴！
（上山口会館にて）



児童朝会で、運営委員会より自分たちで決めた《上小みんなのめあて》が発表されました。

「人を思う心もち

みんなが協力し 幸せになれる 楽しい学校にしよう！」です。

めあてに向けて、一緒にがんばりましょう！

児童朝会

文部科学省「**体験活動の教育的意義**」には、次のように書かれています

子どもたちに「生きる力」をはぐくむためには、自然や社会の現実に触れる実際の体験が必要であるということである。子どもたちは、具体的な体験や事物との関わりをよりどころとして、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ、どうして」と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでいく。そして、そこで得た知識や考え方を基に、実生活の様々な課題に取り組むことを通じて、自らを高め、よりよい生活を創り出していくことができるのである。

- ・ 自然体験の多い子どもの中には道徳観・正義感のある子どもが多い
 - ・ 自然に触れる体験をしたあと、勉強に対してやる気の出る子どもが増える
- との調査結果もあります。効果はすぐにでる場合もあれば、体験が学びの土台として、後になって発揮される場合もあります。

地域の方々と保護者の協力により、多くの体験活動が行えることを感謝しております。

（1年生の「さやむき」むいた豆は給食でいただきました）→



7月の主な予定

- ・ 9（金）水泳指導終了
- ・ 16（金）給食終了
短縮4時間授業
- ・ 19（月）短縮3時間授業
- ・ 20（火）1学期終業式
短縮3時間授業

